



社会福祉法人 豊済生会支部  
富山県済生会

富山県済生会富山病院

〒931-8533 富山市楠木33番地1  
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122  
医療福祉支援センター  
TEL 076(437)1101 FAX 076(437)1131

<http://www.saiseikai-toyama.jp/>

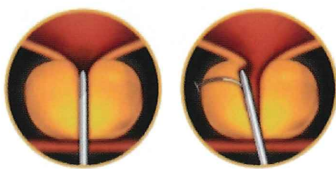


## 泌尿器科

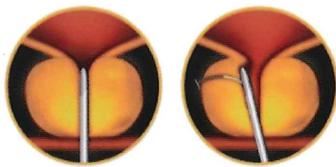
泌尿器科は尿路腫瘍、尿路結石や男性生殖器、副腎などに関する疾患を診療する科です。そのうち前立腺肥大症は高齢男性に発症し、当科で最も頻度の多い疾患です。前立腺肥大症の初期治療は尿道を拡張させる薬の内服ですが、薬物療法で治療効果が不十分な患者さんには内視鏡で前立腺を削り取る経尿道的な前立腺切除術(TURP)を標準的治療として行っています。当科では最近、前立腺肥大症に対する低侵襲治療として経尿道的な前立腺吊り上げ術(Urolift)を導入しました。これは内視鏡を用いて前立腺の中にインプラントを埋め込み、尿道を拡張させ、排尿しやすくする治療です。この治療は経尿道的な前立腺切除術に比べ術後の出血や性機能障害が少なく、入院期間が短縮できる長所があります。本治療は医療保険が適用されます。まだ数名しか導入していませんが、治療後の経過は良好です。令和7年10月より富山大学泌尿器科より室真樹子医師が赴任され、常勤医3名体制でより充実した診療ができるようになりました。女性医師の視点から見た泌尿器科治療を展開して頂けるものと大いに期待しております。

文責／主任部長 木村 仁美

経尿道的な前立腺吊り上げ術 (Urolift)



狭い前立腺部尿道に内視鏡を挿入し  
インプラントを埋め込みます



対側にもインプラントを埋め込み合計4本で  
前立腺部尿道が拡張されました



(前列:左から)室医師、木村主任部長、保田部長  
(後列:左から)牛島事務員、谷村看護師、岡部看護師、矢合事務員

## 医事課の紹介

当院の医事課は、外来係14名、入院係4名、病院コンシェルジュの3名併せて21名のスタッフで勤務しております。

外来係は、受付・会計窓口業務、外来診療費計算など主に患者さんに直接対応する業務を行っています。入院係は、入院診療費請求書の作成、医事統計業務、施設基準管理などを行っています。公的医療保険が適用される診療行為は、厚生労働省が定めている診療報酬に基づき行う必要がありますので、医師や看護師など多職種との連携、コミュニケーションも大切です。令和6年5月から、患者さんの多様なニーズに対応しサービスの向上を図るために、外来総合案内に病院コンシェルジュを配置しました。業務内容は、受付・会計・診療窓口の案内、車椅子移動の介助、外来設備の清掃など業務は多岐に渡ります。

医事課には、患者さんやご家族の方から、診療費に対する不安の声を多くいただきます。その際は、おおよその診療費を事前にお伝えし、必要時には関係部署と連携を図ることも行っています。そして、患者さんにとって院内で最初と最後に接する職員となりますので、迅速かつ正確に業務を行うことはもちろんのこと、笑顔で親切な対応を心がけています。

文責／課長補佐 松本 晃



(前列:左から)越善主事、福井主任、松本課長補佐、中川係長、池下主任、櫻田主事  
(後列:右から)高橋(朋)事務員、山主事、桐谷主事、浜谷主事、西野主事、飛主事、高橋(恵)事務員

## 特定行為に係る看護師の紹介 NST(栄養サポートチーム)について

私は2024年に「栄養および水分管理に係る薬剤投与関連」と「創傷管理関連」の特定行為研修を修了しました。現在はNST(栄養サポートチーム)メンバーとして、低栄養状態や創傷を有する患者さんに対し、専門的視点から栄養管理および創傷管理に取り組んでいます。毎週火曜日のNST回診では、医師・薬剤師・管理栄養士・リハビリスタッフなど多職種と連携し、それぞれの専門性を活かした支援を行っています。全身状態や検査データ、食事摂取状況などを総合的に評価し、輸液内容の調整提案や食事形態の見直し、栄養補助食品の選定などを行っています。

高齢化の進展に伴い、低栄養は医療・介護現場における重要な課題となっています。食欲低下や嚥下機能の低下、社会的背景などが影響し、十分な栄養摂取が困難となるケースも少なくありません。低栄養は易感染性の増大や創傷治癒の遅延、ADLの低下、入院期間の長期化を招き、予後やQOLに大きく影響します。

今後も患者さんの生活背景や治療方針を踏まえた包括的視点を大切にし、栄養・創傷管理の実践に努めてまいります。栄養状態や創傷管理に関してお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

文責／看護師 芹田 真梨子





## 院長コラム Vol.4

### 温暖化とドカ雪

スーパーの鮮魚コーナーで地物より養殖のぶりが目立ちます。タラやイカも減り、シイラやサワラが増えているといいます。背景には、温暖化の影響があるのかもしれませんが。寒い季節に、クモの巣が目立つようになったのも、気候変動の一端でしょうか。諏訪湖の結氷や御神渡りが8季連続で観察されず、これは乱世の戦国時代1507年以来だそうです。1443年以降の記録が残されていることにも、歴史の重みを感じます。



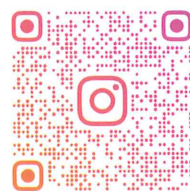
一方で、今年は寒い日が続き、日本海寒帯気団収束帯(JPCZ)の発生予測やドカ雪への注意がニュースで流れています。今年は金沢で大雪となっていますが、県庁所在地の最深積雪ランキング(平成4年～令和3年平均)は、富山市が53cmで、青森市102cm、札幌市95cmに次いで全国3位、北陸ではトップです。年々北陸の降雪量は減

っていますが、最大積雪深(ドカ雪)はあまり変わらないようです。温暖化による海水温上昇が雪雲の発生を促し、「暖かい=雪は少ない、でもドカ雪はふる」のです。

甘い話には裏がある、世の中には響きの良い情報が溢れていますが、安易に受け入れると膨大な後処理や思わぬリスクが潜んでいるかもしれません。身近な自然の変化を通じて、私たちの暮らしや社会のあり方を見つめ直す機会にしたいものです。



院長 亀山 智樹



TOYAMA\_INCHOU

Instagram  
はじめました!

### 医療福祉支援センターからのお知らせ

#### 電話による診療予約時間を延長しました

平素より当院の診療に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
この度、当センターでは電話による診療予約の受付時間を18時まで延長いたしました。

(土曜日は9時～13時までとなります)

※平日の緊急受診は8時30分～17時30分までとなりますので、ご注意ください。

ご不明な点がございましたらお気軽にご連絡ください。

今後とも円滑な診療連携にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



医療福祉支援センター

TEL 076-437-1101

FAX 076-437-1131

予約専用ダイヤル

076-437-1120

## 当院にご紹介いただく先生方へ……

医療福祉支援センターでは、ご紹介頂く患者さんの診察予約、検査予約を行っております。予約を行うことで、診療手続きが簡素化され、速やかな診察が可能となります。

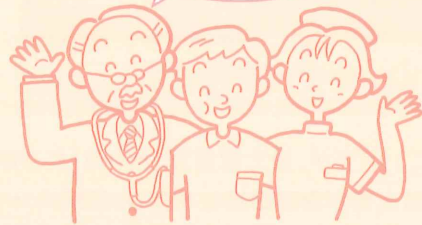
### 診察予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**  
(直接、診察申込書をFAXしていただいても結構です。)
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**  
※医療福祉支援センターで判断ができない場合は担当医師に確認が必要のため、相談の上、予約させていただきます。
- 3 診察申込書をFAXください。**  
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しください。

### 検査予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
- 3 診察申込書をFAXください。**  
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しください。

令和7年11月以降  
CT・MRI検査予約枠  
変更となりました。  
予約時間は  
8:30～18:00まで  
延長しています。



検査予約時間	CT	心臓CT
	10:00～11:30 (火・金以外) 13:30～16:30 (月・水)	月 14:00～15:00 火 14:00～14:30 水 14:00～15:00
RI	8:30～11:30 (月～金)	
MRI	9:30～16:00 (月・水)	

## 富山県済生会富山病院 医療福祉支援センター

〒931-8533 富山市楠木33番地1 TEL 076-437-1101(直通) FAX 076-437-1131(直通)

### ミッション(使命)

患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

### ビジョン(将来像)

- 地域住民の健康寿命の延伸
- 健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- 働きがいのある職場環境の形成

### バリュー(価値観)

- 生活困窮者支援の積極的推進、ソーシャルインクルージョン、誰一人取り残さず寄り添う心
- 地域住民、医療・看護・介護関係者に信頼され選ばれる、持続可能な病院
- 予防医学、救急・急性期医療、回復期リハビリテーション、慢性期医療、訪問看護、在宅医療支援、大規模災害時までカバーする切れ目のない医療体制の構築
- 働く職員の笑顔があふれる、働きやすい、働きがいのある病院

### 患者さんの権利と責務

私たちは、医療行為が患者さんと医療者との信頼関係の上に成り立つものであり、医療は患者さん中心であることを深く認識して、ここに「患者さんの権利と責務」を定めます

#### ①患者さんの権利

- 個人としてその人格を尊重される権利
- 質の高い医療を公平に受ける権利
- 十分な情報を知り、説明を受ける権利
- 選択の自由と自己決定する権利
- プライバシーが守られる権利

#### ②患者さんの責務

- 自身の情報を正しく提供する責務
- 診療行為に協力する責務
- 療養に専念する責務
- マナーや規則を守る責務
- 医療費を支払う責務